

まちづくりの  
基本方針

# 3

## 伊豆の国市に 新しいひとの 流れをつくる (観光・交流)



### 【施策の大綱】

- 移住・定住の促進
- 観光推進体制の強化と交流人口の拡大
- 情報発信力の強化とおもてなしの充実

## 政策の柱

## 3-1

関連するSDGs

17

パートナーシップで  
目標を達成しよう

# 訪れたいくなる まちづくり

## 目指すまちのすがた

古き良き温泉場の魅力に加え、旬の観光やイベント情報が常に発信され、リピーターやファンを獲得しています。市民は地域に誇りを持ち、おもてなしを通じて来訪者との交流を図りながら、元気な地域コミュニティを形成しています。

## 現状と課題

- 本市は東京から100km圏内にあり、利便性に富んだ交通アクセスと豊かな自然や温泉は、日帰り観光、宿泊を伴う観光ともに適した環境となっています。
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、地方移住や二拠点居住、ワーケーション等への関心が高まる中、本市に関心を持つ移住相談数は増加傾向にあります。
- 近年の人口動態を見ると転出数が転入数を超過していることから、本市ならではの魅力を発信し、移住定住先として選択してもらえるよう、より効果的なシティプロモーションの取組が求められています。
- 新しい旅行形態に対応した環境整備や市民との協働による持続的な地域振興につながる取組が求められています。

## 主要施策

### ① 旬を活かした魅力の発信

#### ① 魅力の効果的な情報発信 .....

本市のブランドメッセージを明確にしたうえで、ターゲットに適した媒体による効果的な情報発信を行うとともに、複数の分野にまたがる観光情報を集約した一元的な情報発信を進めます。また、SNS(※)を利用した個人や団体等による市の魅力情報の拡散につなげるための勉強会を引き続き実施します。

#### ② 大河ドラマを活用した魅力の発信 .....

2022年大河ドラマ放送を機に、“北条一族ゆかりの地”という認識を市全体で共有し、にぎわい創出につなげるとともに、本市の持つ豊かな歴史・文化資産の魅力を全国に発信します。また、放送後は、ロケツーリズムや地域イベントの企画・実施等により、継続していくことができる振興策に取り組みます。



#### 用語解説



**SNS** 「Social Networking Service」の略。登録された利用者同士が交流できるWebサイトの会員制サービスのこと。

## 2 観光基盤の整備

### ① デジタル技術を活用したおもてなしの推進 .....

観光客が多く立ち寄る個所に多言語表記のデジタル観光案内板を整備し、来訪者に優しい観光案内を充実します。また、宿泊とサイクリングなどのスポーツ、宿泊と人間ドックなどの健康増進プランなど、宿泊と市の持つ観光や医療の強みを容易に利用できるシステムの構築を目指します。

### ② 安全安心な観光地としての認知向上.....

新型コロナウイルス感染症対策に取り組む事業所を支援する「伊豆の国市安全安心宣言」の拡大、発信をすることで、安全安心な観光地として認知向上を図ります。

### ③ おもてなし意識の醸成 .....

伊豆の国市観光協会や伊豆長岡温泉旅館協同組合等の市内観光関連団体との連携を深め、市全体が一体となった「おもてなしの伊豆の国」のまちづくりと観光満足度の向上を目指します。また、ボランティアガイドなどの市民活動を支援し、市民による「おもてなし意識」の醸成を図ります。

### ④ 温泉街の振興 .....

将来にわたり安定した湯量の確保や安全な温泉環境整備の維持に向け、関係団体と協力し源泉の保全に努めます。また、温泉街のにぎわいを創出する活動団体等と連携・支援を行います。



## ③ 関係人口(※)の創出・拡大

### ① 移住・定住の促進 .....

東京圏からの移住や二拠点居住の場所として選ばれるよう、東京圏へのプロモーションを一層強化します。また、新規就農者の多さや充実した医療体制などの本市の強みを発信し、若年世帯や子育て世帯の本市への移住を促進します。

### ② 交流人口の拡大 .....

姉妹都市や友好都市、モンゴル国柔道連盟との関係を継続するとともに、英語圏の都市との友好交流関係の構築を目指します。加えて、文化やスポーツを通じた交流を深め、首都圏からの近さを活かして大学のスポーツ合宿などの誘致を推進します。また、川の駅や道の駅などの市内外の人が滞留する場を創出し、交流人口の拡大を図ります。



### ③ 市民交流団体等への支援 .....

姉妹都市や友好都市との交流を図る市民団体など、市民が中心となって積極的に交流を図る団体等と連携するとともに、その活動を支援します。

#### 指標

指標名	基準値	目標値	指標の説明
観光交流客数	1,930千人	2,206千人	市内観光施設やイベント来場者数、旅館やホテルなどの宿泊者数の年間総数

基準値／令和元年度実績値

#### 用語解説



**関係人口** 移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域と多様に関わる人々のこと。

## 政策の柱

## 3-2

関連するSDGs



# ふれ合っ、味わっ、 感じる観光の推進

## 目指すまちのすがた

温泉や自然景観、歴史・文化資産、多様なアウトドア、豊富な食材など、五感で楽しむ観光が推進されています。観光業者と市民が協力しながら新たな魅力を創り出す「観光まちづくり」が進められ、新しい観光まちづくりに取り組む人々も生まれています。

## 現状と課題

- 平安・鎌倉時代から続く古奈温泉と明治以降に開湯した長岡温泉を有する伊豆長岡温泉は、多くの観光客でにぎわっていましたが、近年の宿泊客数は減少しており、温泉街には廃業した旅館や空き店舗が点在しています。
- 平成27年に韮山反射炉が世界遺産に登録されたほか、令和4年に北条義時を主人公とした大河ドラマが放映されるなど、多くの歴史・文化資産の注目が高まっています。また、カヌーやSUP(※)、サイクリングといった多様なアクティビティも大きな強みになっています。
- 「ひと」も大切な地域資源であることから、主体的にまちと関わり活動する人材や団体を支援するとともに、観光事業者のみならず、市民とともに地域の新たな魅力を創出し、まちを元気にしていく取組が求められています。

## 主要施策

### 1▶ 地域資源の活用

#### ① アウトドア観光の推進 .....

サイクリング、ノルディックウォーキング、カヌー、SUP、鮎釣り、ゴルフ、トレッキングなど、多様なアクティビティへの誘客と観光振興を図ります。また、これら自然資源を活かしたアウトドア観光を通年で味わうことができるよう、アクティビティ環境の整備に取り組みます。



#### ② 歴史・文化資産の活用 .....

明治日本の産業革命遺産の構成資産として世界遺産に登録された韮山反射炉をはじめ、江川家住宅、北条一族ゆかりの地などの歴史・文化資産を活用した観光まちづくりを推進します。

#### ③ 農業体験観光の推進 .....

いちご狩り、みかん狩り、茶摘みなど、農業体験観光の振興を図ります。また、既存の農業体験に加え「夜のいちご狩り」のようにニーズを的確に把握した新たな体験方法などを推進します。



#### ④ 食を活かした観光の推進 .....

本市の特産品を活かした食材や朝採り野菜の提供、パン祖ゆかりのパンをはじめ、本市が誇る食や食文化を観光資源としたツアーの提供などを模索します。

#### 用語解説



**SUP(サップ)** 「Stand Up Paddleboard」の略。専用のボードに乗りパドルで漕ぎ進むウォータースポーツのこと。

## 2 広域観光の振興

### ① 広域サイクルツーリズムの推進 .....

ライド&ライド伊豆狩野川の認定コース、サイクルボール(※)コース「伊豆いち」等の活用による、広域サイクルツーリズムの振興を図ります。



### ② 伊豆半島における広域観光の推進.....

伊豆半島における東西南北の交通の要衝という立地を活かし、半島内市町と連携を深め、一層の観光振興に努めます。また、“伊豆を一つに”を合言葉に設立された(一社)美しい伊豆創造センターや駿豆線沿線地域活性化協議会と連携し、伊豆半島全体の観光・産業振興を推進します。

### ③ 地域資源を活かした広域観光の推進 .....

北条五代観光推進協議会や道の駅連絡協議会などの一員として、全国各地の市町との連携による観光振興を進めるとともに、本市の持つ地域資源を活かした新たな広域連携を模索します。

#### 指標

指標名	基準値	目標値	指標の説明
公共交通等を利用し市内を周遊した人数	12,315人	14,077人	市内周遊バス利用者及びレンタサイクル利用者の年間総数

基準値/令和元年度実績値



**サイクルボール** サイクリングアプリにより全国に散らばったサイクルボールを集めるゲーム。既定のコースを走破するとサイクルボールカードを入手できる。